

虐待を早期に発見するためのチェックリスト

虐待は、子どもの体や心を深く傷つけます。大きな影響をもたらす前に、できるだけ早期に発見し、支援につなげることが大切です。

以下のようなようすがみられたら、虐待を疑う必要があります。

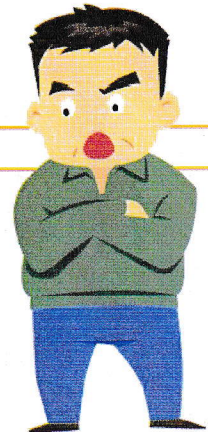
子どものようす

- ☐ 原因がはっきりしないけがをよくしている
- ☐ 衣服や髪の毛、顔、手足が不潔で不快なおいがする
- ☐ 家や家族の話をしたがらない
- ☐ 病気ではないのに、成長がおくれている
- ☐ 夜おそく、子どもだけで家にいる
- ☐ いつもお腹をすかせている



親のようす

- ☐ 地域との交流がなく、孤立している
- ☐ 子どものけがに対して不自然な説明をする
- ☐ 子どもを甘やかすのはよくないと必要以上に強調する
- ☐ 子どもに対して拒否的な発言（なつかない、かわいくないなど）をする
- ☐ 家の中にこもっていて、特定の人以外とのかかわりを避ける



家庭のようす

- ☐ 大声でどなったり、叩いたりする音がよく聞こえる
- ☐ 夫婦や家族の関係が悪い
- ☐ 理由がはっきりしない転居を繰り返している
- ☐ 昼夜逆転など、生活リズムが乱れている
- ☐ 子どもがいるのに、姿をめったにみかけない
- ☐ 住人ではない人が頻繁に出入りしている



～子育て中のお父さん・お母さんへ～

子育てに悩んでいませんか？
子育てに疲れ、嫌になっていませんか？
子育ては楽しいことばかりではありません。
イライラするのは、あなただけではありません。
一人で悩まず、相談してみませんか？



○テレホン児童相談：子どもの養育についての不安や悩みごとの相談

電話相談員 / 毎日 9:00～20:00 TEL 028-665-7788

○赤ちゃんすくすくテレフォン相談：乳幼児の育児・しつけ・医療などについての相談

保健師等/月～土曜 10:00～17:00 小児科医師/木曜 14:00～16:00

TEL 028-623-4152 / FAX 028-626-5781 / mail akasuku@abeam.ocn.ne.jp